

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

熊谷市長 小林 哲也

市町村名 (市町村コード)	熊谷市 (11202)
地域名 (地域内農業集落名)	中条地区 ( 上中条、今井、小曾根、大塚 )
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年8月25日 (第5回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2：「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・ 農業者47名（認定農業者31名、利用者16名）
- ・ 地区内の農地面積に占める田の割合は約86%で、米麦の二毛作が中心。
- ・ 地区内の遊休農地は約5ha。
- ・ 中条地区は複数の法人をはじめ、大規模な担い手が多く存在し、農地中間管理事業を利用した貸借が行われ集積、集約が進みつつある。
- ・ 耕作条件の良い圃場の貸借は進んでいるものの、中条の一部や今井、小曾根などの未整備地では排水が整備されておらず進入路も狭いことで貸借が進んでおらず、担い手が離農した農地は遊休農地となっている。
- ・ 担い手の多い地域であるがゆえに、農繁期は圃場への取水が困難な場所も出ており、用水路整備等の必要がある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

- ・ 今後も米麦主体。
- ・ 未整備地や用水路、農道の整備について、対象区域を選考し整備に向けた機運を高めていく。
- ・ 中間管理事業を利用し担い手への集約を進めていく。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	486.57 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	486.57 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

基本的に農振地域内を対象とするが、集落介在の白地農地等については計画から除外する。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

